

経営比較分析表（令和6年度決算）

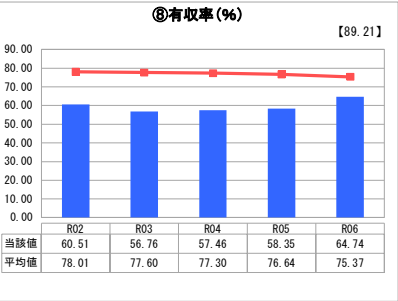
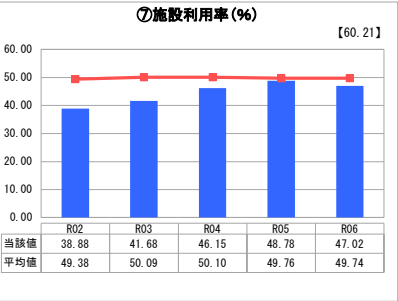
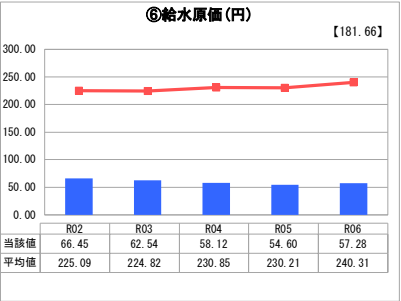
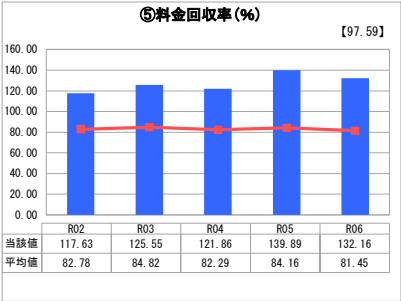
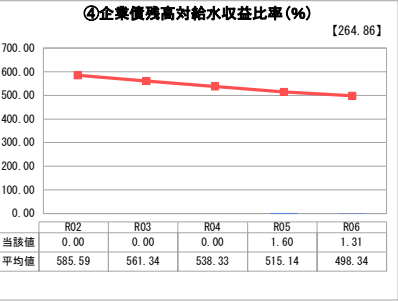
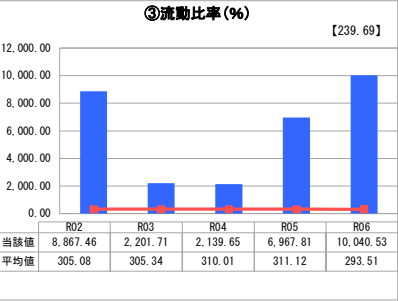
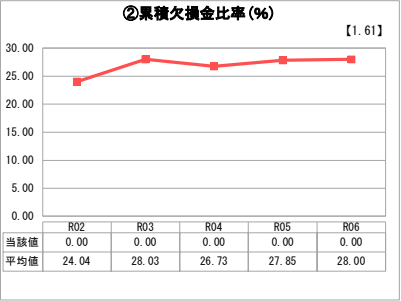
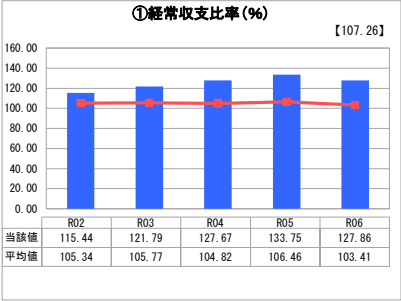
群馬県 草津町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)	
-	95.91	97.15	1,414	

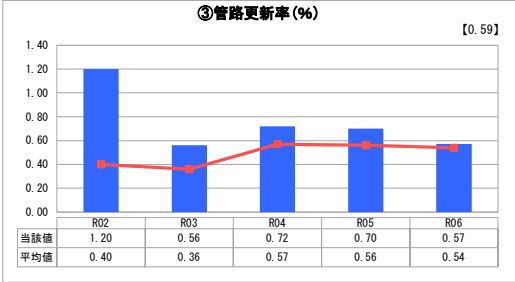
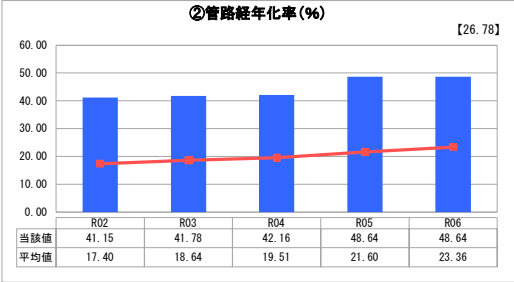
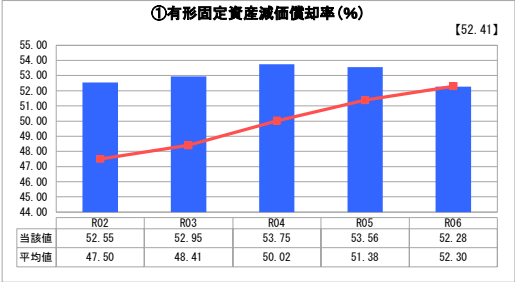
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,055	49.75	121.71
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,873	4.76	1,233.82

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【 令和6年度全国平均】

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①〈経常収支比率〉当該値は100%以上となっているため給水収益で維持管理等は賄えているが、更新投資財源の確保に向け経費削減を図り健全経営に努める。  
②〈累積欠損金比率〉当該値は0%になっているので経費削減、健全経営に努める。  
③〈流動比率〉平均値と比較しても比率は高いので支払能力は十分にある。  
④〈企業債残高対給水収益比率〉非常に低い比率に抑えられている。今後の更新投資等により比率が高くなる事も考えられる。  
⑤〈料金回収率〉給水に要する費用は給水収益により賄っている状況にあるが、更新投資等に備え料金収入の確保に努める。  
⑥〈給水原価〉平均値と比較しても安価な費用で賄えている。今後もこの水準を維持出来るよう健全経営に努めていく。  
⑦〈施設利用率〉観光地特有の季節変動やピーク時に対応するため、平均値と比較すると低い値になっている。  
⑧〈有収率〉平均値と比較すると低い値にあるので、漏水対策等により数値を上げられるよう努めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

①〈有形固定資産減価償却率〉平均値と同等の数値ではあるものの、耐用年数に近い資産を保有している状況にある。  
②〈管路経年化率〉平均値と比較すると高い状況にあるので計画的な更新をしていく必要がある。  
③〈管路更新率〉平均値と同等の結果となったが、上記②管路経年化率は平均値より高いので、老朽管をより多く更新し当該数値を高めて行く必要がある。

全体総括

経営については安定した状況にあり、引き続き料金収入の確保を図り、安定経営を目指し進めていきたい。  
また、アセットマネジメント、基本計画、経営戦略など策定したものを活用し施設・管路等の更新に努める。  
今後も水道事業全体の健全性・効率性等、今後の改善に取り組んで進めていきたい。